

事務事業名	白根乗馬福祉公園管理事業		所属部局	保健福祉部	単位番号	5017				
			所属課室	福祉課	課長名	有泉 久				
			所属担当	障害者生活支援担当	担当者名	内田一也				
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策		17 社会福祉の充実		01	一般	03	01	02	020	03
施策		30 障害者福祉の充実	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	南アルプス市塩前フレンドリーセンター条例						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
	塩前フレンドリーセンターの管理業務及びホースセラピー(乗馬療法)業務の委託管理に関する事業			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				修繕料	661					
				施設維持管理委託料	10,656					
			不動産借上料	180						
						計	11,497			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容	ホースセラピーに重点をおいた乗馬事業	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定	ホースセラピーに重点をおいた乗馬事業 H28年度の指定管理者募集、更新手続き			ア 乗馬公園来園者数	人
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	障害児、者に対して		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 身体障害者手帳所有者数	人
					イ 療育手帳所有者数	人
					ウ 精神障害者手帳所有者数	人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	馬と触れ合うことにより心の癒しと、乗馬をすることにより筋力の回復等を促す		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア アンケートで満足したと答えた割合	%
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	障害児、者が社会生活を楽しくおくれるようにする。		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 社会生活を楽しくおけていると答えた割合	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	14,308	13,170	11,497	11,336	11,336	11,336		
		事業費計(A)	千円	14,308	13,170	11,497	11,336	11,336	11,336		0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	100	150	100	100	100	100		
		人件費計(B)	千円	455	683	455	455	455	455		0
		(A)+(B)	千円	14,763	13,853	11,952	11,791	11,791	11,791		0
	活動指標	アイウ	人	3,917.0	3,600.0	5,400.0	6,000.0	6,000.0	6,000.0		
	対象指標	アイウ	人	2,990.0	3,015.0	3,001.0	3,000.0	3,000.0	3,000.0		
		アイウ	人	445.0	455.0	448.0	450.0	450.0	450.0		
		アイウ	人	479.0	490.0	518.0	520.0	520.0	520.0		
	成果指標	アイウ	%								
		アイウ	%								
	上位成果指標	アイウ	%								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併以前の白根町の事業を継続した
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	平成23年度から馬主が指定管理者となったことで管理及び運営が一体的に実施することとなり、統一化、合理化が見込まれる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	現状のままでは、費用対効果が見込まれない状況であるので、PR等を含め積極的に運営をしていくよう指摘があった。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	利用料金の改定
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	自主事業の拡大

事務事業名	白根乗馬福祉公園管理事業	所属部	保健福祉部	所属課	福祉課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 地域での交流づくりの場として障害者に利用されている。 利用者数については、事業開催等により昨年度に比べ増加した。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 対象が広く一般市民だけでなく、心身に障害をもつ人のケアも目的としているため、運営に対し利益を追求するだけではないので、公共で行うのが妥当 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 心身のケアが目的であるので、費用に対してすぐ効果が現れるという性質ではないと思われる。長期的に継続して事業効果を図っていくべきである。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 主に対象が、心身障害者であったがチラシ等で広く一般市民にもPRし利用してもらえらる施設としていく。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 毎月計画的に障害者施設の乗馬教室があるため、影響がある。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 地域での交流づくりの場として障害者に利用されているため。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 様々な事業展開により来客者数増加を目指し、成果を上げることで委託料の削減を図る
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 動物を扱っているため時間の短縮等は厳しく、また、現在必要最小限の人数で管理、運営しているため減数は厳しいが、今後、馬の減数を視野にいれ人件費削減を目指す。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 対象はあくまで身障者、また、市民であるため公平である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成25年度の指定管理者は、ルバートが行っていたが、平成25年度の指定管理者は積極的な営業運営を行っていただけなかった感が否めない。そのため、平成26年度から2年間、ノースランドライディングクラブが指定管理者を行うことになり、1年が過ぎ収入、来客数は増加している。27年度は指定管理募集となるため、今後の方向性を検討していく。
② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について この施設は障害者乗馬を行いセブニー事業を推進することを主たる目的としている。其の事業を引き続き運営できるよう、自主財源の確保し、財務状況の健全化を目指すため、健康者の乗馬及び周辺の施設を使用した観光事業を積極的に取り組む必要がある。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ホースセブニー事業を継続する中で、委託料を減らすために自主事業を積極的に取り入れていく。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑪																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					